

ご意見・ご要望を
お寄せください

〒520-8575 大津市御陵町3-1 大津市役所内 TEL/FAX: 077-524-5613

http://www.otsu-jcp.net/ Eメールアドレス: info@otsu-jcp.net

市議会 報告

2014年1月号

頌者

杉浦 安倍政権が秘密保護法の強行や社会保障の改悪計画など、国民の願いに逆らう暴走を始めていますが、どのように見えていますか。
塚本 消費税増税など市民生活の安心が壊されようとしている中、暮らしを守る自治体としての大津市の役割が問われる年だと思う。

痛み押し付けの 政治から暮らしを守る

2014年を迎えて、市民生活を取り巻く情勢や大津市政の課題について市議会で語り合いました。



福祉・暮らし優先のあたたかい大津市政を

佐々木 生活保護基準の引き下げによる市民への影響は深刻、早く元に戻すべきだし、市もしっかり調査して対策を講じるべきだね。

岸本 自衛隊が海外で武力行使をできるように憲法解釈を変えようとしているけど、子どもの将来を考えても絶対許せないわ。

石黒 介護保険では軽度の人の利用を制限する案が出されているけど、お年寄りをさらに切り捨てる改悪は、自治体と住民ではね返さなくては。

福祉優先の大津市政に

塚本 ところで越市政は折り返し点を迎えたけど、2年間の市政をどう感じているかな。

杉浦 保育園の定数を増やすなど子育て支援は進んでいる。だけど施設使用料の値上げなどを見ると、市民生活には冷たいと感じる。

岸本 越市長は学力テストの結果の公開を主張しているけど、「過度の競争教育が子どもの発達を阻害」との国連の指摘をわかっていない。

黄野瀬 いじめをなくすどころか、子どもを追いつめることになるよね。マンモス校の解消や少人数学級の促進など、やるべきことは他にあるのね。

石黒 職員の不祥事への対応は、倫理研修だけでなく行政が市民の権利をしっかり守るという姿勢を打ち出してやりの持てる市役所づくりが大切だと思うわ。

黄野瀬 市が多額の補助を出している大企業が1000人以上の労働者を作り出したのに、「雇用を守れ」と言えないのでは、市民の立場に立っている

のか疑問やわ。
佐々木 今年隣接の国有地と絡んで庁舎整備が大きな問題になる。耐震改修で長寿命化するなど、多面的な検討をすべきだね。

市民の声が通る 議会改革を

岸本 昨年、大津市議会は議会改革が評価されて、他都市からの視察も増えているけど、どう思う？。

杉浦 「いじめ防止条例」の策定の中では、市民意見が十分反映されなかったか、各会派の一致点が大切にされたとは言えない運営など問題も残したわね。

佐々木 議会では請願する市民が審議の場で意見を述べられないとか、共産党以外の監査委員や常任委員長の質問が制限されるなど、民主的な議会への改革を進めるべきと思う。

共同を広げ、平和・ 暮らしを守る年に

石黒 今年は議員としての最後の年度を迎えるので、私は福祉が前進するようがんばりたい。特に障がい者の卒

業後の行き場づくりやグループホームの充実などに取り組みます。
佐々木 市は老朽配水管の更新を理由に水道料金の値上げを検討しています。100年使える配水管を40年の計算で負担させる不合理を正し、値上げはやめさせたい。

岸本 中学生の昼食のあり方を検討することになったのは前進。おいしく楽しく食べられる教育の一環としての中学校給食実現ががんばりたいです。

杉浦 子ども・子育て新制度の準備が進められていますが、格差なく幼児教育・保育が保障されるように制度をチエックし、提案もしていきたいと思っています。

黄野瀬 私は若者の雇用が増えるよう、経済対策の充実へ他都市の事例も研究しながら提案していきたい。また、子どもの医療費助成の充実などに取り組んでいきたいです。

塚本 市が地域の公共交通充実へ取り組むようがんばりたい。70億円もの基金やガス事業の内部留保などを計画的に使えば、暮らし応援の市政は可能だと提案したい。

杉浦 市民の皆さんと共同を広げ、憲法を活かした平和や暮らしを守る年になるようがんばっていきましょう。

8分の1の予算で庁舎耐震化 進めた松阪市などを視察



日本共産党大津市議員団は、市と政の重要課題となっている庁舎の耐震化、ごみ処理施設の整備について昨年11月、調査・研究のため視察を行いました。

松阪市では約33億円かかると見込んだ庁舎の耐震改修補強の工事費が、プロポーザル(提案型)入札方式を用いたことで4億円余で実施、現庁舎を使いながら約8ヶ月の短期間で工事ができたとのことでした。また、従来から計画的に庁舎改修や整備をしてきたことで寿命を伸ばしてきたこと、IS値0.75と学校等と同程度の耐震性能を確保することで、経費節減を図ったことなどは参考になるものでした。

大阪市東淀清掃工場では、2010年に約195億円かけて日量400トンのごみ処理ができる焼却施設を整備、焼却廃熱を使った高効率発電(20.4%)を行い、屋上に太陽光パネルも設置して、余った電気(6~7割)は電力会社に売電し年間3億の収入を得ているとのことでした。運営はすべて直営で行っているとのこと、建設から修理、点検などについても一貫して監理することで効率的な運営を行っていること、学童向けの教育施設も整備されていることなどが印象的でした。